

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		幼稚園施設保全				所管	教育委員会 庶務課		
事務事業の概要	行政計画	あり	事業NO.	205	計画事業名	学校施設の整備			
	長期総合計画体系	[基本目標] Ⅲ-2. 次の世代の育成					事業の開始・終了年度		
		[小 柱] (2)子どもが、自らたくましく生きられる教育の推進							
		[施策] ③ 教育環境の整備[70]							
	根拠法令等	条例・規則	[法令等名]	台東区教育委員会事務局処務規則					
	事業対象	幼稚園11園							
	事業目的	幼稚園施設の維持と教育環境の充実を図るため、幼稚園施設の計画的な工事を実施する。							
	事業内容	幼稚園施設を維持修繕するための経費 計画工事(床改修・園庭、プール再舗装・電気設備工事・外壁改修工事等)							
委託の有無	なし	委託内容							
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度		
	活動指標	学級数	学級	31	34	34	33		
		園児数	人	660	690	705	689		
	成果指標	1学級あたり経費	千円	27	26	—	27		
		園児一人あたり経費	千円	1	1	—	1		
	決算額	(単位：千円)			894	0	893		
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト(人件費など)			270	0	157		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			0	0	893		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			895	0	0		
		総経費			1,165	0	1,050		
財源項目 (単位：千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0			
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0			
	一般財源(区負担額)			1,165	0	1,050			
前年度から改善した事項	実施にあたっては安全性や緊急性を第一に、工事の優先順位を決定したり、工事手法の見直しや繰り延べ等を行い、経費の節減を図っている。25年度から非構造部材耐震化の国・都の補助金を積極的に活用して、防災対策事業を進めている。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	4	設置者である区の責務として計画的に工事を着手し、施設環境を補修・改善していく必要がある。						
	効率性	3	安全性や緊急性を第一に、工事の優先順位を決定したり、工事手法の見直しや繰り延べ等を行い、経費節減に努めている。						
	手段の適切性	3	経年劣化による設備(プール濾過機、自家発電装置、吸収冷温水機等)の更新時期が集中するなか、大規模改修時の効率的な更新を前に、優先度等から適切に判断して、手当てすることで施設の保全を図っている。						
	目的達成度	4	限られた予算の中で、園児の安全対策を第一に、有効的な工事に着手している。						
[評価の理由](区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性		
施設の老朽化対策と非構造部材の耐震化は待ったなしの状況であり、効率的に整備していかなければならない。施設保全は本来、予防保全が目的であり建物、設備を計画的に更新していく事業であるが、事後復旧的な工事が多い。今後も、国や都の補助制度を積極的に活用するなど、適切に施設更新を行い、良質な教育環境の整備に努めていく。							維持		
							拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		